

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	区長会と協働した高齢者交通事故防止事業
事業主体 (連絡先)	小諸交通安全協会 (小諸市八幡町3-3-9)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	592,680円 (うち支援金: 444,000円)

#### 事業内容

「ケガやそれを引き起こす事故などは偶然起こるのではなく、予防することができる」というセーフコミュニティの理念のもと、安全安心して暮らすことができるまちづくりを区長会と協働して実現するため、夜間の高齢者交通安全教室や高齢者宅家庭訪問を行った。

- ・ 夜間の高齢者交通安全教室は、各区長に参加者を募り小学校の通学区ごとに3回実施。参加者750人
- ・ 高齢者宅家庭訪問は、区の役員の参加を得て、季別の安全運動期間を重点に4回実施。実施数870人



【交通安全教室】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 区長をはじめ地域住民の交通安全意識の普及がはかられた。
- ② 交通安全教室や家庭訪問を通して、高齢者の交通安全思想が定着された。
- ③ 高齢者事故が51件(-11件)と減少した。

- ① 交通安全に対する住民の意識付けの普及
- ② 高齢者の交通安全思想の定着
- ③ 夕暮れ時から夜間の交通事故防止

#### 【目標・ねらい】

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

小学校の通学区ごとに行っている夜間の交通安全教室は、区長会との協働を得ながら継続し、更なる交通安全意識の普及を図るため、高齢者宅家庭訪問に小学生の参加を得て実施したい。

※自己評価 **【 A 】**

**【理由】**

- ・ 大勢の皆さんに参加してもらい交通安全思想の定着が図れた。
- ・ 高齢者の交通事故が11件(18%)減少した。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある